



第37号 令和7年9月1日

清高同窓會報

題字：
故 竹内 宏
(中21回生)



Connecting to the Future



2025/6/7
文化祭

撮影：写真部 望月英尋・小林和花子

発行／清水東高等学校同窓会

〒424-8550 静岡市清水区秋吉町 5-10 TEL 090-6359-8084 (金曜日午前中) FAX 054-366-7685
HP <https://shimizu-higashi.com>

編集／「清高同窓会報」編集委員会 印刷／株式会社ニシガイ

同窓会HP





母校への感謝を胸に

同窓会会長
鈴木 克昌 (高25回生)

令和7年6月の代議員総会において第5代同窓会会長に選任頂きました鈴木です。我ながら、正直びっくりしております。在学中の私は決して優等生でもなければ母校の誉を高めるような活躍をしたスポーツ選手でもありませんでした。卒業後も地元清水で家業を継いで続けてきた平凡な市民に過ぎません。そんな私が100年以上の伝統ある母校の同窓会会長という大役を務めさせて頂くことになりました。誠に身の引き締まる思いであり責任の重さを痛感しております。

早いもので今年で卒業後53年目になりますが、在学中に経験したあれやこれやの思い出は今も昨日のことにように脳裏に浮かびます。厳しくも愛情を以て導いてくださった恩師の顔や、同級生の男子や女子の顔が鮮やかに甦ってまいります。そしてそれらの濃密な思い出がたった三年間という短い期間での出来事だったことに驚かざるを得ません。清水東高校で過ごした日々は私たち卒業生にとってかけがえのない財産であり、その学び舎で育まれた精神は私たちの人生の糧となっております。

在学中はまったく考えもしませんでした。思えば私たちの高校生活は恩師や学校関係者や父兄や卒業生の皆さんに支えられてのものでした。今後は母校への感謝の気持ちを胸に同窓会活動を通じて後輩たちの育成に貢献し、ささやかながら母校の発展に寄与出来ればと考えております。

何卒、ご支援、ご協力の程お願い申し上げます。



「清高センター」と「清高ライト」

静岡県立清水東高等学校
校長 井島 秀樹

単身赴任し、清水区民として2年目。美味しさと安さでびっくりした持ち帰りの寿司店、住宅街でひっそりと営業しながらお客の絶えないイタリアン、IAIスタジアムのオレンジ旋風など、この土地は住む喜びに溢れています。

私は散歩するのが好きで、先日は興津、薩埵峠、由比、蒲原を通って富士山本宮浅間大社まで歩きました。さすがに疲れましたが、この散歩で清水区の概ね全域を踏破することができました。全日制生徒の約6割(定時制はほぼ全員)が清水区出身ですので、(清水区を知る)≒(生徒を知る)として、私にとって大きな成果となりました。私の任期は今年度末までですが、清高の益々の発展に寄与できるよう精一杯尽力しますので、よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、様々な場面で御支援、御協力いただき、日頃からとても心強く感じております。

100周年記念で整備していただいた自習室(他校に類を見ない充実した施設。平日:朝7時~19時頃)は、生徒の学力向上に大きく寄与しています。毎朝7時半にはいつも30人以上が利用していますし、PTAの御協力で土曜日の開館日も増えています。

【今年度取り組む教育活動】

<全日制>「国内外で活躍し、社会にイノベーションを起こすリーダー人材」の育成を目指し、昨年度から「清高センター」(探究学習の中心となる)を掲げて、探究学習の推進を図っています。

<定時制>「地域社会から信頼され、未来の担い手として貢献できる人材」の育成を目指し、今年度から「清高ライト」(自分の未来に火を灯す)を掲げて、就職と直結するインターンシップを計画しております。

同窓生の皆様には、熱き御助言とともに、引き続きの御支援、御協力をお願い申し上げます。



2025年同窓会懇親会

今年度のテーマは「新たな絆 未来へつなぐ」です。久しぶりの再会を楽しみながら、新しい絆を深めませんか?未来への一步を共に踏み出しましょう。

2025年11月1日(土)

ホテルアソシア静岡 駿府の間(3階)
〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町56 TEL 054-254-4141
受付/16:00~17:00 懇親会/17:00~19:00

会費/12,000円



参加方法

① 同封の申込用紙(払込取扱票)で会費をお振り込みください。

② クレジット決済はこちらから
「寄付金」「維持協力費」もこちらから決済できます。
<https://qr.paps.jp/uZisQ>



● お問合せ/2025年 実行委員長 兼高 光清
TEL 080-3520-6535 Mail shimizuhighashi2025@gmail.com LINE
幹事: 高42回生(参考:S46.4.2~S47.4.1生まれ)



懇親会 報告

2024年11月3日(日)
17:00~
ホテルアソシア静岡



2024年同窓会懇親会実行委員長
小笠原 憲 (高41回生)

我らの母校は2023年に創立100周年という大きな節目を迎え、華やかな記念式典や新型コロナウイルス感染拡大で3年間の中止を余儀なくされた同窓会懇親会が盛大に開催されたことは、昨日の出来事だったかの如くに記憶に新しいかと存じます。

そして2024年、同窓会懇親会の幹事学年であり、元号が昭和から平成に変わった直後に卒業した私共高41回生は次なる大きな節目に向けて、創立101周年を「絶対に、祭りの後の静けさにはいけない」、「一寸先が見えない時代だからこそ、未来に向けて皆で力強い第一歩を踏み出そう!」と言う思いから「次の100年、さらに先への「最初の一步」」を同窓会懇親会のテーマとして掲げ、総勢18名の実行委員会が一丸となって懇親会の前日まで準備を進めてまいりました。

高41回生 全員集合!



2024年同窓会懇親会実行委員会
全メンバー(計18名)

次の100年、さらに先への「最初の一步」

当日は総勢250名の皆様のご出席を賜り、司会は小沼みのりさん(高52回生)、フォトグラファーは榎戸敬人さん(高46回生)、ピアノ演奏は小川知子さん(高40回生)のご協力のもと、三和酒造様(鈴木克昌様・高25回生・清水東同窓会会長)およびガイアフロア様(中村大航様・高39回生)には懇親会場へのアルコールをご協賛頂き、動画メッセージは阪神タイガース岩崎優選手(高62回生)および清水エスパルスGM反町康治さん(高34回生)、高41回生としてピアノ演奏に戸田顕さんと校歌斉唱・エールに池田明寛さんにも協力を頂いて、盛大な懇親会となりました。ご出席の皆様および様々な場面でご協力頂いた皆様、そして懇親会プログラムの広告協費にご賛同頂いた企業様ならびに同窓生の皆様にはこの場をお借りして、改めまして心より御礼を申し上げます。

私自身、同窓会懇親会の当日まで気苦労が絶えず、様々なプレッシャーに押し潰されていましたが(歴代の実行委員長も同じ心境だったと思いますが)開宴前の受付では握手を交わし、抱き合って再会の喜びを体現される方々、歓談タイムでは席を立って多くのテーブルを回りながら懐かしい話に花が咲き、笑顔が溢れる方々を拝見して、そして100名を超える、大半が卒業してから一度も会ったことがない同級生と再会して、実行委員長をやってみて本当に良かったと思っております。

懇親会では実行委員会として至らない点が多々あったと思いますが、メンバー全員が最後まで各自の役割をキチンと果たし、大きな滞りやトラブル等もなく無事に閉会した時点で、改めて「仲間」の存在と友情の素晴らしさを実感した次第です。

母校の益々の発展と、同窓生の皆様方の今後益々のご健勝とご多幸、そして同窓会懇親会が集い・繋がり、青春を謳歌した高校時代にタイムスリップする場として今後絶えることなく毎年盛大に開催されることを心より祈念し、ご報告とさせていただきます。

同窓会 各地区のたより

関東同窓会

新橋から167人分の「思い出が 今日、動き出す！」

横山 展子 (高40回生)

日時： 2025年6月21日(土) 13:30～総会 14:00～懇親会

会場： 第一ホテル東京



「清水東高校歌 feat. 初音ミク」を全員で熱唱

心配していた雨もどこへやら、梅雨前線を押上げる勢いで167人の同窓生が新橋に大集合しました。下は20代から上は80代まで、関東在住の清水東高卒業生に加えて静岡からもバスで駆けつける、年に1度の大同窓会です。総会では、杉本会長が「同窓会10年若返り。を目指す[DECADE ACT]」の現状を報告し、長年清水東高同窓会に尽力された中澤前会長の乾杯で懇親会が始まりました。

清水エスパルスGM反町康治さん(高34)のビデオメッセージや、グラウンド人工芝化を目指すサッカー部OB、創部60周年の女子バスケット部など、多彩な清高タイムで場内は大盛り上がり！さらに、会場が一体となって

楽しめるよう、各テーブルをライブ中継でつなぐ新企画も。裏方はドキドキでしたが、センタースクリーンにインタビューに答える人や笑顔あふれる姿が映し出され、「思い出が 今日、動き出す！」そんな瞬間をみんなで分かち合うことができました。

幹事代表の日比さんは、「先輩方の助けや協賛・寄付があったからこそ」と感謝を述べ、クライマックスの校歌斉唱と応援団のエール(村上正さん・高39)へ。校歌は、この日のためにボーカロイド開発者の剣持秀紀さん(高37)が制作した清水東高校歌 feat.初音ミク！ いつもより1オクターブ高いかわいい歌声に会場は温かな感動に包まれ、最高の一日となりました。



再会を喜ぶ同期(高45)の皆さん



女子バスケット部の皆さんと清高タイム



幹事代表の日比さん(高40)



新橋にちなみSLをモチーフにした今年のパンフレット



司会の渡辺さんと、右の山梨さんは当日アウェイ戦の清水エスパルスに合せて白ユニフォームで登場

連絡先 清水東高関東同窓会 中川義夫(高26回生)
mail : kiyokoukantou@gmail.com

関東に住む卒業生は
コチラをチェック！▶



新校内幹事 鶴飼 知可世 (高39回生)

初めまして。39回卒 鶴飼 知可世(旧姓守谷)と申します。

私は、大学卒業後、高校教員として掛川に30年余り暮らしていました。昨年度より母校に赴任することとなり、清水へ来てまず「驚愕」したのは、「清水の富士山はこれほど大きかったのか!」ということです。静岡方面から国1を走り、大曲のカーブを越えて少し進むと本校校舎の真上に聳え立つ富士山が見えます。在学当時、私はこの富士山に気付いていませんでした。母校の校歌第1番「世界の四方にうたはるる富士の名山

朝夕に眺る幸に暖かく、我が青春の血ぞをどる」とはよくぞ歌ったものだ、恥ずかしながらほんの、つい最近気づきました。

そして私にとって「驚愕」といえば、ハイドン作曲交響曲第94番の「驚愕」です。高校時代音楽部で初めて弾いた曲といえる曲はこの「驚愕」だったのです。

長年、異郷の地において、同窓会には全く関わってこなかったのでこんな自分で大丈夫なのかと思いつつ、また新たな「驚愕」に出会えることを人生の励みとして務めていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

北海道支部

道産食材を楽しむ 同窓会支部会

川口 日向子 (高74回生)



同窓会北海道支部の総会・懇親会は、道産野菜をふんだんに使った料理を囲みながら、和やかに開催されました。新たに北海道に来られた同窓生も加わり、久々の再会と新しい出会いが交差する、温かいひとときとなりました。

また、遠方から中澤通訓同窓会会長にもご出席いただき、前年に行われた100周年記念式典についてのお話をうかがうことができました。

ちょうどエスパルスやコンサドーレのJ1昇格・残留がかかった試合の時期でもあり、試合の行方についても話が弾みました。残念ながら今年は北海道でエスパルスの試合を観戦することは叶いませんでしたが、来シーズンは同窓生の皆様とJ1の舞台で両者の対戦を観戦できることを楽しみにしています。この会報が届く頃には、順位争いの行方も見えてきている頃でしょうか。エスパルスが健闘を続けていることを願います。

世代や立場を超えてつながる同窓のご縁のありがたさを改めて感じる会となりました。これからも支部の活動に参加することを楽しみにしております。

2025年度開催概要

日時：2025年10月11日(土) 午後6時～午後8時

会場：ホテルマイステイズ札幌アспен

札幌市北区北8条西4-5

URL: <https://www.mystays.com/hotel-mystays-sapporo-aspen-hokkaido/>

会費：学生1,000-2,000円・学生以外10,000円程度

連絡先 北海道支部事務局 宮坂瑞穂(高43回生)
FAX: 011-231-0058
mail: hiro.miyasaka@nifty.com

由比

第32回 由比清水東高会の報告

会長 原 藤蔵(高22回生)



由比清水東高会は、6月14日(土)東高からは井島校長先生、校内幹事の鶴岡先生、中澤前同窓会会長のご出席を頂き会員32名が集まり、開催しました。

校長先生から学習面では、「文武両道」を目指す生徒参加の「土曜講座」の開催について、さらに部活動ではサッカーの大会システムの説明と活躍状況の報告等があり、最新の学校の様子がよくわかりました。

講演の中澤前同窓会会長からは、「創立100周年を振り返り」の演題で、募金活動における公立高と私立高の税制上の違いの話がありました。また募金活用については「文武両道」の名の通り、生徒はいつも目標にむかって努力をされていて、学習環境として図書館だけでは不十分という要望から「自習室」を創設したとの具体的な報告がありました。

総会後の懇親会は、学生時代の思い出や地元「桜エビ祭り」が話題となり、さらに人間関係が深まり、地域の活性化にも繋がると強く感じました。今後とも皆さんの協力により由比清水東高会を継続・発展させたく思います。

関西支部

コロナ禍以降活動を停止しておりましたが、令和8年1月12日(祝)、大阪市内にて、活動の再開(総会・懇親会)を検討しております。

今後、会員の皆様には詳細をメール等にて連絡いたします。関西在住の同窓の方で、関西における同窓会の活動にご興味がある方は、ぜひご連絡ください。

なお、総会において、今後の関西支部の運営方法についてご意見をいただきたいと考えております。

連絡先 清水東高校同窓会関西支部
支部長 堀 晶彦(高29回生)
mail: compassrose1707@gmail.com

会長退任の挨拶 **新たな歴史を!** 中澤 通訓 (高15回生)

中学のトップクラスであっても、毎年ドロップアウトする生徒が数人います――。

衝撃的なことばを受け、校舎改築に合わせて広い学習室の確保と机、イス等の整備を100周年事業の目玉に。今では始業前に生徒たちが立ち寄る盛況さにほっとしている。

清高生徒は金剛の意志をもって文武両道に励み、同窓会はそれをバックアップしていく、それが本校の誇れる歴史

であります。

同窓会会長として16年間支えていただいた多くの皆様に心よりお礼を申しあげ、母校の末永い発展をお祈りいたします。

ミスタープロ野球と称された長島茂雄氏の現役最後のことばを握れば

――わが清水東高校は永久に不滅です――

副会長退任の挨拶 **思いがけず同窓生に出会う** 鍋倉 伸子 (高18回生)

副会長を無事退任でき、感謝申し上げます。どういう役割なのか最後まで分からず、ポーっとしたままだったことを反省しています。多くの方々のご協力で100周年のさまざまな記念事業ができましたが、新しい図書室と自習室の見学が印象深く思い出されます。

亡父戸田寛(旧8回)が1975年に創刊した「季刊清水」を、2003年に再刊、36号から57号まで発行し、図書室にも寄贈しました。さまざまな方に執筆をお願いして、思いがけず同窓生であることが分かってうれしかったことが何度もありました。

同窓生の活躍



原因不明の 口腔顔面痛を治す

井川歯科医院院長、
静岡市立清水病院口腔外科
(口腔顔面痛外来)

井川 雅子 (高30回生)

祖父の時代に開設した歯科医院を継いで「町の歯医者さん」になるのが夢で、歯科大学卒業後は、抜歯も入れ歯もうまくなれそうな慶應義塾大学医学部の歯科・口腔外科学教室に入局しました。

その後さまざまな出会いがあり、当時米国で勃興した歯科の新分野で、口や顔に痛みを生じさせる疾患の診断と治療を行う「口腔顔面痛学」の勉強を始め、1999年に米国の専門医試験に合格しました。司馬遼太郎の表現を借りれば、当時の日本の学会では「学問の創生期にはそれを海外から持ち帰っただけで第一人者」となった状態でした。

中でも専心したのは、外来開設直後から押し寄せてきた、「どこにも原因がないのに慢性の口腔/顔面痛を訴える患者さんたち」の治療でした。この疾患は当時原因不明で難治とされていて学会でも長く論争中でしたが、同僚の医師たちの協力や、多くの論文を渉猟することで効果的な治療法を確立することができました。一方で、この病気は神経痛の一種だとする学会の中では、私は長く異端の存在でした。

ところが、2017年に痛み研究の総本山である国際疼痛学会が「(ストレスなどにより)脳の痛みを感知する機能に変調が生じると、体に損傷がなくても慢性疼痛に陥ることがある」と発表してからは、一気に風向きが変わり、私たちの考える痛みの機序と治療法が間違っていなかったことが認められつつあります。6月には患者さん向けの本も上梓しました。議論はまだ続いています。目の前の患者さんの痛みを取ってあげることが私の使命だと考えています。



筆者のプレイン

一般向けの著書(講談社)



母校の学びを礎に、 今を生きる

鈴与建設(株) 取締役

渡邊 一史 (高38回生)

高校時代、私はほとんどの時間をバスケットボールに打ち込んでいました。「文武両道」を実践できていたかは自信がありませんが、限られた時間の中で結果を出すための集中力や、チームの役割を意識して動く力は、今の自分を形作る土台となっています。

大学卒業後は鈴与建設株式会社に入社し、建築現場の施工管理に従事してきました。現在は役員として建築施工部門の責任者を務めています。かつて建設業界は「3K」と呼ばれ、働く環境が厳しい業界とされていましたが、近年は働き方改革や人手不足、時間外労働規制などの課題に直面し、変革が求められるようになりました。当社では、社員が声を上げやすい職場づくりに取り組み、持続可能な労働環境の構築を進めています。特に給与面では、県内業界トップを目指し奮闘中です。

何もなかった土地に建物が建ち、人々の営みがそこから始まっていく——この“ものづくり”のプロセスに携われるのは建設業ならではの醍醐味であり、大きなやりがいと達成感を実感しています。

私生活では、現役のバスケットボールプレーヤーとして全国大会出場を目標に汗を流しています。競技を通じて養われる体力や気力は、業務にも良い影響を与えています。また、3年前からは清水東高男子バスケットボール部OB会の会長として、現役部員の支援などに携わり、恩返し of 気持ちを形にする活動を続けています。

母校で過ごした3年間は、私の人間形成においてかけがえない時間でした。社会に出てから、その価値を改めて実感しています。今後の母校のさらなる発展と、後輩たちの活躍を心より願っています。



現役東葉バスケット部の3年生の送別会の写真です。卒業生に名前入りのボールをプレゼントしました。



令和5年に母校の特別教室新築工事を、竣工しました。



武力紛争の 終焉を追って

立教大学
異文化コミュニケーション学部・教授
石井 正子 (高39回生)

みなさん、こんにちは。

私はいま、一つの武力紛争の終焉を追っています。昨今は、ウクライナ戦争やガザでのジェノサイドが深刻な問題になっていますね。ですが、私が追っているのは、もっと身近なところにある、けれども意外と知られていない、フィリピン南部の武力紛争です。

フィリピン南部には、もともとイスラム教徒や他の先住民が暮らしていたのですが、20世紀前半より北部のキリスト教徒化した住民を南部に入植する政策が実施されてきました。その結果、イスラム教徒や先住民はマイノリティとなり、彼らの政治的、経済的権利が奪われていきました。そこで、イスラム教徒らが中心となり、1970年前後から自決権を獲得する武力闘争を展開することとなったのです。

1970年前後といえば、私と同級生の方は、何年前のことかすぐに想像がつかますよね。そうなんです、50年以上も前に始まったのです。ところが、2014年に最大武装勢力とフィリピン政府との間で和平協定が結ばれ、南部に新しい自治政府を設立することをもって紛争を終結することが合意されました。

しかしその後、合意内容の実施が予定通りに進まず、新自治政府の設立は遅れに遅れています。ですが、今年10月に行われる(予定の)選挙で、もしかしたら、今度こそ本当に終わるのかもしれないのです!

ただし予断は許しません。(予定の)と書いた通り、選挙が延期されるウワサがあります。その他、たくさんの懸案事項も残されています。しかし、何れともあれ、私は現地に飛んで、とくと一つの武力紛争の最終局面を見つめたいと思っています。



“自分の画”が 道になる。

フリーカメラマン・写真家
西宮 大策 (高44回生)

東京でフリーのカメラマンとして活動している西宮です。

この春、東京・杉並区高円寺で写真アカデミーをはじめました。「写真を仕事にしたい」「もっと力を伸ばしたい」、そんな思いをもつ方々が対象です。立派な学校ではなく、少人数制の寺子屋のような場。実践的な技術はもちろん、写真を続けていくための考え方やマインドも学んでいきます。

参加者によく聞かれるのが、「何もなかった自分が、どうやってフリーでやってこられたのか」ということ。写真の世界に飛び込んで30年あまり、出会い、ご縁、技術の習得、いろんなことが重なって前に進めました。でも、何より大きかったのは、“自分の画肌”を見つけ、それを信じて続けたこと。それがいつしか自分の色、ブランドとなり、仕事へとつながっていきました。もちろん、自分らしい画を生み続けることは決して簡単ではなく、苦痛に近い時期もありました。だからこそ、それをつかめたときの高揚感は、何物にも代えがたいものでした。

清水に生まれ育った僕にとって、清水東はカッコイイというイメージだけで進学しました。自分が夢中になれることを探し続けた三年間、「自分のやりたいことを誰にも邪魔されずに成し遂げたい」と葛藤する日々でした。今振り返ると、あの時間があったからこそ、今の自分があるのだと実感します。

近年、清水東出身のアートディレクターの仕事で同校出身のプロサッカー選手を撮影させていただいたり、富士山、三保の世界遺産保全活動に関わらせていただいたり、清水との繋がりも再び増えてきました。

あの頃の思いも、経験も、すべてが今につながっています。



インタビューの様子
(2025年5月筆者友人撮影)



調査の合同のおやつは/バナナが最高!
(2025年5月筆者撮影)



作品1



作品2

同窓生の活躍



受け継がれる街と 建築に携わること

企業組合針谷建築事務所
代表理事

北川 言 (高50回生)

高校卒業後は京都の大学で建築を学びました。古美術研究会というサークルに所属し、社寺を散策したり、お寺でアルバイトをしたりと、古都の空気に触れながら学生生活を楽しみました。静岡に戻って設計事務所に就職し、二十年が経ちました。現在も所属するこの事務所は、設計者が個人で自立しつつ、プロジェクトに応じて協働する「企業組合」という形態で運営されています。戦後の復興期から八十年、静岡市を拠点に、公共施設から住宅まで幅広い建築の設計を手がけてきました。私自身の成長と同時に、組織として地域の安全や文化に持続的に関わっていくことに、大きな意味を感じています。

入所したばかりの頃の印象深い仕事として、日本平動物園の猛獣館リニューアルがあります。飼育員や関係者との対話を重ね、動物たちがストレスなく過ごし、来園者の子どもたちが五感で学ぶ場とは何かを考えながら設計を行いました。施設ではなく、生息環境や学習機会をつくるという視点は、その後に学校や病院、住宅など様々な計画に携わる際の設計観の土台となりました。

また、五年ごとの節目に「私たちの提案」と題し、地域の未来像を発表する活動を続けています。かつて1950年代に静岡市中心市街地の防火帯建築の設計に参加した経験をふまえ、歩く人を中心に滞在型のまちづくりを構想するなど、いまの時代における街の更新のあり方を問い直すことがテーマです。建物も街も、次の時代に向けて少しずつ更新されていくもの。自分もその流れの一部として関わり続けられたらと願っています。



日本平動物園の計画の粋



よちなかの更新を提案する取組み



挑戦と努力の点が いつか繋がる

トヨタ自動車アンテロープスAC・
静岡プロバスケット県人会代表

山本 柊輔 (高64回生)

2025年まで10年間プロバスケット選手としてBリーグでプレーし、現在は女子プロバスケットWリーグ・トヨタ自動車アンテロープスでアシスタントコーチを務めています。

東高では、部活と勉強の両立に苦勞し、高1では赤点一補習の日々。転機は高2の夏、チェコでのバスケットキャンプに参加し、現日本代表の富樫勇樹選手と出会ったことでした。当時から圧倒的なスキルで活躍する姿に衝撃を受け、自分の中のリミッターが外れた感覚を今でも覚えています。帰国後は県内で活躍し、筑波大学進学を志すようになりました。覚悟を決めて勉強と部活を両立し、筑波大学に一般受験で合格。あの時頑張ったおかげで今があると感じています。

大学ではインカレ2連覇を経験し、その後プロの世界へ。毎日大好きなバスケットを追求し、一生の仕事にすることができました。受験勉強で英語力の基礎をつけたことが、アメリカへのバスケット留学や外国人選手とのコミュニケーションに繋がり自分の世界を広げてくれました。過去の経験が思いもよらない形で自分のキャリアに活かせる“Connecting the dots”な体験でした。

現在の目標は、将来Bリーグで監督として活躍することです。静岡プロバスケット選手県人会を立ち上げ、静岡出身選手と地元企業が協力して、地元子ども達に夢を届けるバスケット教室を開催したりもしています。

高校生の皆さん、これから先の人生沢山失敗するしキツイ時もあるけど、逆境や挫折の時こそ成長するチャンスだと思って、思い切って挑戦してみてください。応援しています。



監督代行を任された時の1枚



静岡プロバスケット県人会イベント

！ 生徒の知らない話 あれこれ



勝利の歌

昭和59年度卒業(高37回生)
保健体育 ハンドボール部
勤務期間:令和6年4月～

片山 聡

この学校に入学して、友人とサッカー部の話になった時、実はうちのサッカー部に日本ユース代表が5人いるということを知った。大変恥ずかしい話なのですが、それまでこの学校のサッカー部が県内のみならず全国でも強いということを全く知らず、そんな先輩がこの学校にいることに驚いたことを覚えている。それまでも全国総体を3度優勝し、その年の高校総体は全国3連覇(連覇自体が史上初だったとのこと)が懸かっていたと、清水のサッカーを牽引する学校であったことを私は知らなかった。ただ、冬の選手権での優勝はなく、悲願の優勝を目指して選手権に挑み、私も応援に行った。

その年の県大会決勝戦。私は草薙球技場に行った。相手は東海大一(今の東海大翔洋)だった。それまでも全校応援してきたが、その時のことはよく覚えている。総体ではベスト8で敗れ、何としてもここで勝って全国へというサッカー部をみんなで必死に応援していたが、試合は1対2で終盤に入った。まさか負ける?と疑い

ながら必死に猪木の「清高ガンバレ! 清高ガンバレ!」を叫んだ。でも、時間は過ぎて、審判も時計を見ていてダメかと思ったときに望月哲也さんがハーフラインから打ったセンターリング気味のボールがゴールに入り同点。周りの奴らと抱き合っただけで喜んだシーンを思い出す。その後延長に入り逆転で勝利し、全国大会に連れていってもらった。

その全国大会でも大逆転勝利の余韻もあってか勝ち進み、決勝まで進出した。決勝の舞台である国立競技場に全校応援で行った。当時から選手権は人気があり、その舞台に6万人の観衆が詰めかけ、その中で応援をした。私はサッカー部ではなかったが、緊張していたことを記憶している。そして、試合はリードして終盤を迎え、初の全国制覇が近づく。試合時間を刻んでいた電光掲示が40分で消え、あとはアディショナルタイムになり、みんな「長いぞー、審判時計しっかりみろー、早く終われー」などのヤジを必死に言っていたこともまだ忘れられない。そして、終了のホイッスルが鳴った瞬間、6万の地響きも体が覚えている。ただ、勝った? 本当に勝った? と周りの仲間と話をした。それは現実を受け止められなかったからだと思う。しかし、その時「優勝しました清水東高校の栄誉を称え、同校の校歌を演奏し、校旗を掲揚します」とアナウンスがあり、校歌が流れてきた。その校歌をお互い肩を組んで、声高らかに歌っている時初めて勝ったんだ! 本当に優勝したんだ! と実感が湧いてきて、誇らしくもあった。その私たちの校歌を6万観衆の人たちが静かに聞いていて、歌い終わった瞬間割れんばかりの拍手と歓声がかかってきたことが一番の思い出である。

私にとって清水東高等学校の校歌は勝利の歌である。

青春交友録



植物と光合成の研究を続けて

岡山大学・資源植物科学研究所・教授
坂本 亘 (高33回生)

理数科を卒業し、大学1年生で細胞学の講義を受けたとき、高校の教科書では習わなかった「細胞内共生」の話に不思議な魅力を感じ、強く惹かれました。それ以来、植物の研究者を志し、現在に至ります。農学部に進学し、光合成を行うシアノバクテリアに由来する葉緑体(プラスチド)という細胞小器官の基礎研究を続けてきました。専門は植物生理学と遺伝学です。大学院進学後は、アメリカでのポスドク生活を経て岡山大学の教員となり、フランスでも研究生活を経験しました。気がつけば岡山に根を下ろし、在岡歴も20年を超えました。

地球の大気中には、750ギガトンもの炭素がCO₂として存在しています。陸上植物は、7年に1度このCO₂を全て入れ替えて酸素を生み出すという、莫大なスケールの化学反応と炭素循環を行っています。これが光合成です。植物が光エネルギーを効率よく使うしくみについて研究しています。光合成の理解は、基礎科学である



在学当時の筆者



上/葉緑体の模型(国立科学博物館 特別展「植物」から)
右/研究室のメンバーと
奥中央が筆者



と同時に、地球温暖化の抑制にも貢献し得る魅力的な研究テーマです。定年まであと数年ですが、「考えること」に終わりはありません。これからも研究に携わり続けたいと考えています。

東高の理数科でクラスメートと過ごした3年間は、今になって思えば本当に大切な時間でした。富士市から片道1時間半かけて通学していたため、東部から一緒に電車通学していた同級生たちは、かけがえのない仲間です。地学部に入り、普通科の仲間ともよく遊びました。国鉄のストライキがあると、電車通学組で合宿所に泊まるのが恒例で、夜遅くまでみんなで花札をしたのが懐かしく思い出されます。昭和な日々でした。高校時代は、自宅で過ごした記憶がほとんどないほど、学校での勉学や友人との時間に満ちた毎日でした。今でも楽しく研究が続けられているのは、あの頃に培った向学心と協調性のおかげです。いつも新幹線から眺めている、母校の益々の発展を祈念しています!

令和7年4月入学者選抜の合格状況 主な大学の延べ合格者数（現役・浪人合計）

■国立大学

北海道	6	東北	6	東京	3	東京科学	1	名古屋	11	浜松医科	3
京都	5	大阪	2	神戸	2	九州	1	静岡	31	秋田	2
筑波	5	千葉	4	横浜国立	5	金沢	3	信州	2	島根	2
三重	1	岡山	2	広島	2	福島	2	電気通信	2	東京外国語	1
東京海洋	1	東京芸術	1	東京学芸	1	山梨	3	その他	9		

国立大学計 119

■公立大学

東京都立	6	横浜市立	1	大阪公立	2	高崎経済	2	都留文科	3	前橋工科	1
名古屋市立	1	京都府立	1	静岡県立	21	その他	11				

公立大学計 49

■私立大学

青山学院	15	慶應義塾	6	学習院	2	上智	5	中央	19	津田塾	1
東洋	34	東京理科	13	法政	24	明治	29	明治学院	14	立教	10
早稲田	11	同志社	14	立命館	36	関西	6	関西学院	35	日本	14
常葉	95	その他	350								

私立大学等計 733

令和6年度転退職者一覧（敬称略）

【退職者】

石川 悦子 英語

【転出者】

秋永 能宏 教頭 沼津城北
 寺尾 祐一 国語 静岡商業
 岩崎 直巳 地歴公民 静岡東
 望月 正貴 数学 静岡
 白鳥 貴久 数学 浜名（教頭）
 漆畑 信之 理科 静岡
 星野 陸 理科 藤枝特別支援
 増田 倫 理科 川根
 池谷 淑子 英語 清流館
 望野 裕子 英語 静岡農業

齊藤 裕美 実習助手 静岡西
 佐野 文 事務 科学技術
 柴田 未紗子 事務 清水西
 石川 圭美 事務 計量検定所
 大石 公隆 定理科 袋井（教頭）
 加藤 友美 定地歴公民 静岡中央（通）
 米澤 早也加 定理科 ふじのくに国際
 宇佐美 貞雄 定英語 静岡農業

【転入者】

幾留 純二 教頭 富士宮東（定）
 市川 志保 国語 吉原
 野田 学 地歴公民 清水西
 坂下 佳輝 数学 新採

太田 博理 数学 富士市立富士川一中
 清水 雄三 理科 富士東
 谷口 裕美枝 理科 科学技術
 武村 真希 英語 静岡
 アシュリー インベラデーロ
 英語ネイティブ教諭
 佐野 澄広 英語 焼津水産
 秋山 幸子 実習助手 新採
 稲葉 真子 事務 科学技術
 岡村 千紗子 事務 清水西
 石井 正春 事務 静岡農業
 杉木 充 定教頭 清水南
 比嘉 亜澄 定地歴公民 新採
 小林 導太郎 英語 清流館

54歳になると年1度の「懇親会」幹事が回ってきます★

よろしく
 お願いします！

令和8年度 懇親会当番学年 43回生(54歳)

令和8年度 関東同窓会総会当番学年 41回生(56歳)

通例、準備は5年前くらいから。

11月の「懇親会」は54歳のとき、6月の「関東同窓会総会」は56歳のときに、それぞれ当番学年として幹事を担当します。

半年度は43回生が「懇親会」を、41回生が「関東同窓会総会・懇親会」を担当。いずれ、自分の学年が担当することを視野に入れ、イベントの企画を練ったり、会場を探したり、講師候補等に打診したりということを早めにやることが成功の秘訣です。当番になる5年前くらいから準備を始める学年もあります。白間は一見にしかず、一度「懇親会」や「関東同窓会総会」に参加し、自分たちが担当するときのイメージをふくらませてみませんか？ 同窓会報は52歳の学年が中心になって3学年で編集しています。



同窓会役員（2025年7月現在）

会長	高25	鈴木 克昌	代議員	高41	朝比奈智之
副会長	高34	望月 文人	"	高41	小笠原 恵
副会長	高36	渡邊 久寿	"	高42	大竹 透
監事	高33	稲名 輝	"	高42	兼高 光清
監事	高35	福島 覚	"	高42	堀尾 直人
事務局長	高33	土橋 貴子	"	高43	小林(川崎) 崇矢
校内幹事	高39	鶴岡 知可世	"	高43	望月 正貴
			"	高44	吉村 峰仙
			"	高44	八木 康洋
			"	高45	海野健多郎
(定時制)			"	高45	中島 寛文
会長	定8	立川 岸夫	"	高45	大石 康乃
副会長	定11	杉山 賢	"	高45	佐々木 英子
副会長	定18	漆畑誠之助	"	高46	檀戸 敬人
			"	高46	望月 克洋
			"	高46	前野 仁奈
			"	高46	望月 麻希

絆ルーム

広く会員を募集しています。お気軽にご相談ください。
同窓生の紹介状があれば、どなたでも会員になれます。

「人生はパートナーがいると広がりができる。結婚していると深みが出る。」と信じて、まきご縁のために活動しています。絆ルームでは、集団でのお見合いではなく、おひとりおひとりのお見合い形式を大切に、同窓生スタッフが立ち会って「おひきあわせ」を行っています。

2025年で発足8年目を迎えました。「おひ

きあわせ」の後も、ご成婚まで同窓生スタッフが親身になって相談に乗っています。これまでに会員様同士のご成婚は11組。婚活が実って会員様以外の方とご縁のあった方が20名ほど。2世誕生のうれしいお知らせをいただいたのは5組。

現在会員様は、関東圏から中部圏にお住まいの20代から60代、よいご縁を求めているらっ

しゃいます。初婚再婚を問わず、広く会員様を募集しております。

ご自身、ご両親、ご親戚が当校出身である方はもちろん、同窓生の紹介状があれば出身校に関わらずどなたでも会員になれます。あなたの周りにご縁をお探しの方はいらっしやいませんか？まずはお気軽にお問い合わせください。

会員に年齢制限はありません

※電話に出られない時は
メールの折り返しになります

清水に住んでいなくても
利用できます

お問い合わせの電話やメールは
365日24時間受付しています

静かな絆ルームでお相手と
スタッフだけでお話するので
誰にも見られません

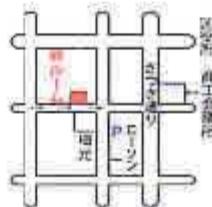
遠方の方とも
オンラインでの
お見合ができます



絆ルームは、営利目的でなく同窓会の社会貢献事業です。スタッフは同窓生有志のボランティア。親身になって相談にのります。

住所：清水区巴町9-9 Pあり
開室：第1・3の金曜・土曜 13時～17時
電話：070-5330-7191
mail：kizunaroom@shimizu-higashi.com
費用：登録料1万円（2年間有効）+
年会費2年分2万円 = 合計3万円

<https://shimizu-higashi.com/kizuna.html>



就職支援情報誌 『静岡で働こう。』 叶えたい未来に、踏み出す君へ 2025年版

静岡市が、叶えたい未来に踏み出す皆さまを応援するため、静岡商工会議所、静岡市内高校同窓会と共に制作しています。

デジタルブック版 ▶



清水東高1校からのスタートでしたが、今では静岡市内26校までに広がり、各学校同窓会の協力で2014年から発行しています。今回は魅力的な静岡の企業を155社紹介しています。地元静岡で活躍している清水東校生も多数登場しています。

清水東高バージョンをご覧になりたい方は絆ルームにお声をかけて下さい。

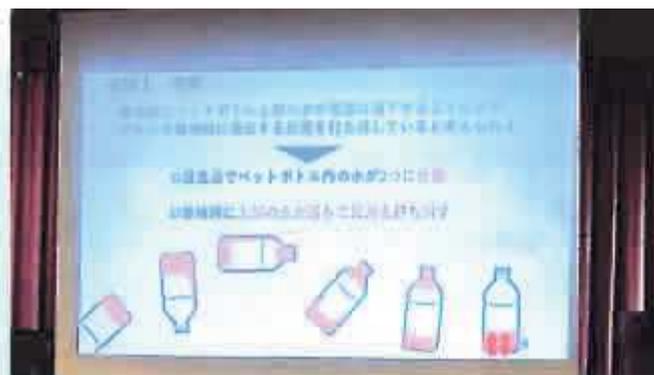
全国共通バージョンは左のQRコードから電子版がご覧になれます。

随想～縁を紡ぐ～ WE ARE 45th 中島 寛文 (高45回生)

5月10日、清水東高校45回生(1993年卒)が初めての学年同窓会を開きました。31年ぶりに顔を合わせた33人。名前を思い出すまで数秒かかっても、笑い声はすぐにあの教室の空気に戻してくれました。予定外の“全員近況報告”も、照れながら語るひとりひとりの言葉が沁みて、あっという間の3時間。最後は全員で肩を組んで写真を撮りながら、やっぱり会えてよかったなあとしみじみ実感。次はもっとたくさんの仲間と。幹事年の2028年に向けて、また来年この続きを…。



母校のたより



SSH の状況

本校では平成16年度から理数科がSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、平成24年度からは普通科へも活動を拡大しました。課題研究活動を中心に据え、論理的思考力や創造力を養うとともに、探究の過程を重視した研究活動の実践の他、科学の楽しさや面白さをグローバルに伝える力や討論する力も養成しています。現在は、予算措置のあった第IV期SSH指定期間を終了し、2年間の経過措置期間を経て、令和6年度より「認定枠」の指定を受けています。この設定枠では、これまでのSSH活動で培ってきたノウハウや実績の継続・発展に加え、他校への知見や取り組みの普及も求められています。本校は「清高センター」として、清水地区の高校における探究活動の地域拠点となることを目指し、引き続き積極的な活動を展開していきます。

ここでは、令和6年度のSSH活動の報告を兼ねて、3月17日(月)本校講堂にて行われた普通科2年生選抜の課題研究発表会を紹介します。

令和6年度は優秀発表として、英語発表を含む以下の7つの研究について、1年間の研究活動の成果を口頭及び創意工夫を凝らしたスライドにて発表しました。大学の先生方や県の探究授業の担当の方々にもご臨席の上、講評をいただきました。

- ①「防弾におけるダイラタント流体の最小の厚さの測定と応用」
- ②「どのような形の堤防が一番波の高さを抑えられるのか」
- ③「音楽が植物に与える影響」
- ④「力学的観点からみたペットボトルフリップ成功条件の模索」
- ⑤「添加物の有無による劣化への影響の違い」
- ⑥「Durability of soap bubbles」(英語発表)
- ⑦「過冷却現象の条件とは」

どの発表も優れた研究でしたが、生徒審査の結果、④「力学的観点からみたペットボトルフリップ成功条件の模索」が最優秀発表に選ばれました。

令和6年度は理数科だけでなく普通科の研究でも外部で賞を取るなど、例年と比べて研究の質が大変向上している様子でした。令和7年度も令和6年度に負けない充実した課題研究活動にしていきます。



学校祭

新聞部では、毎月の定期発行に加えて、学校祭などのイベントを取材し、号外新聞も発行しています。今回は学校祭の号外を紹介します。



清水東高校新聞部
〒424-8550
静岡市清水区
秋吉町5-10
TEL 054-366-7030

号外

令和7年6月7日 (土)

清高新聞

(1) 号外

清高万博 遂に始まる

6月6日に清水東高校学校祭1日目が行われた。出帆祭やHR展、文化部展、そして中晩祭で大盛り上がりを見せた。それらについて詳しく紹介する。



新学期をテーマにしたコントで会場を笑いに包んだ

出帆祭

出帆祭では文化祭や各クラスが展示のアピールをした。文化部の紹介動画



衣装でも観客を魅了した

3年生のHR展の紹介では、ディズニーやジブリ、任天堂のキャラをモチーフにして、さらに各クラスの個性を組み合わせた発表となった。演技やダンスはクオリティの高いものが多かった。

HR展・文化部展

3年生のHR展では、各クラス多種多様なゲームが行



外装を見て楽しむ来場者

われた。工夫されたゲームやクオリティの高い外装及び内装を楽しむ来場者で溢れていた。文化部

中晩祭



迫力のあるダンスで会場を沸かせた

今年度の中晩祭には個性豊かなり組のグループが登場した。洗練されたコントやダンス、バンドや吹奏楽部の演奏などは観客を大いに盛り上げた。観客からは終始掛け声が上がり、会場は熱気に包まれた。また、今年度からはペンライトやうちわの持ち込みが可能になったため、会場はより鮮やかで華やかな雰囲気となった。

キッチンカー登場

6月7日
開始時間：10:00
場所：講堂前

上記の時間にキッチンカーが登場する。フランクフルトや富士宮焼きそば、ポテト、たこ焼きなどが売り出される。その他にも暑い気候にぴったりなフルーツ割りやスムージーも販売される。



母校のたより Club activities

サッカー部

第73回静岡県高等学校総合体育大会
サッカー競技 ベスト8

サッカー部は、3名の本校OBを含めた6名の教員で構成されています。(総監督(高36回生)大川島広、監督(高49回生)武田直隆、コーチ(高67回生)伊藤仰伸)

今年度は、県Aリーグが暑熱対策のため3月よりスタートしました。高校総体中部地区予選までにリーグ戦を6試合行い、4勝2敗、勝点12の4位で高校総体を迎えました。

全体のミーティングでは、「1992」、「4/9」、「98」の数字から生徒に清水東高校サッカー部の歴史や伝統を感じて士気を高める働きかけをしました。最後に全国総体に出場したのが1992年、平成4年の宮崎インターハイ、9回出場し、4度の全国優勝をしていること。現在の部員数は98名であること。総監督からも「全国の旗は降ろさない」という言葉もありチーム清水東で「全国」を見据えていくことを確認しました。

中部予選決勝では、県リーグで0-1で負けた清水桜が丘との対戦となり、0-0からPK戦で敗れリベンジとはなりません。そして、迎えた県大会準々決勝、静岡学園戦では、チーム内に組織されている分析班が分担して静岡学園の特徴を映像でまとめ、戦術的な面を伊藤コーチが分析をもとにスタッフ、選手と共有し、1週間の練習の中で確認作業を繰り返しました。11時キックオフした試合は、前半6分30秒で雷雨により中断を挟み、12時45分に再開となりました。中断時間もロッカールームに映像を投影し、個人とチームの役割を確認する姿がありました。前半を計画通りの0-0で折り返すことができました。ハーフタイムに守備はこのまま粘り強く、奪った後のボールを繋ぎ攻撃へ出ることを

伝えました。しかし、後半8分に相手のCKをニアで合わされ失点。スコアはそのまま動かず悔しい0-1の敗戦となりました。攻撃面はこれからの課題として取り組んでいきます。途中怪我によるアクシデントもあり選手交代もあった中、途中出場した選手は役割をパーフェクトに近い形で遂行してくれました。80分間集中して取り組める姿や守備の役割と戦術を理解し遂行できる力が清水東にはあると強く感じさせる試合でした。98名の部員で11名の先発、5名の交代枠、25名の登録の中これまでの経験や準備の大切さを感じました。また、高校総体に向けて部員は、昼休みに自主的に本気で応援練習をする姿は新たな清水東の伝統の一つになっています。やはり、IAIスタジアムで真剣勝負のサッカーができ、多くの方々から応援される風景は「これぞ、静岡の高校サッカー」と思いました。県ベスト8に常に残り、今回のような試合を積み上げ、勝利していく強さをつけていきたいと思えます。引き続き応援をお願いいたします。(文責 武田)

男子ハンドボール部

「県大会優勝」「東海大会1勝」の
目標を掲げて

昨年度の県総体では準決勝で惜敗し、あと一步という所で東海大会出場を逃してしまいました。その時の思いを胸に、新しい代が始動して1年。3年生8名2年生5名という少数体制でのスタートでしたが、人数の少なさを強固な結束力という強みに変え、この1年で試合中どんなにリードされていても計り知れない底力を発揮できるチームへと成長してきました。

「県大会優勝」を目標に掲げて挑んだ冬の新人戦では決勝で御殿場高校との接戦



を20対19で制して目標通り優勝を果たしました。これは10年ぶり7回目の優勝となります。東海大会では出場した3試合とも敗れてしまい悔しい思いをしましたが、次に向けての課題と目標がよりはっきりと見えてきました。

春の高校総体は中部地区大会を2位で終え、迎えた静岡県大会では3回戦の富士高校とは延長戦の末30対24で勝利、準決勝では桜が丘高校に20対19で勝利しました。いずれも接戦で何度も苦しい局面にぶつかりましたが、チームの強みである結束力と粘り強さで勝利をつかみ取りました。決勝戦の相手は新人戦決勝で戦った御殿場高校。当日は北里アリーナ富士と遠方の会場にもかかわらず、多くの生徒・先生方が応援に駆けつけてくれました。試合中は観客席からの声援に力をもらいましたが、24対34で惜敗。この悔しさから選手たちは新人戦では成し遂げられなかった「東海大会1勝」という新たな目標を掲げ、半月後の東海大会に向けて全員が気持ちを一にして動き出しました。

続く東海高等学校総合体育大会では、まず1回戦で市立岐阜商業と対戦。前半は14対10とリードしましたが、相手は東海大会常連校。そう簡単にはリードを保たせてはくれない。後半は接戦となりましたが、最後まで集中を切らさず戦い抜き、26対24で勝利。目標であった「東海大会で1勝」を達成することができました。2回戦の対戦相手は四日市工業。前半は10対17でリードを許す展開となりましたが、後半は14対15と、自分たちから仕掛ける守備で相手の攻撃を抑え、攻撃でも積極的な姿勢を見せることができました。最終的に24対32で惜しくも敗れましたが、県大会からの成長が感じられる試合となりました。

現在、国体選手として練習を続けている3年生もいますが、部活動としてはすでに代替わりしています。引退した3年生の思いを引き継ぎ、新しい代の強みを生かしたチームへと成長していきたいと思えます。これからもご支援・ご声援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。(文責 谷戸)

部活動の成績

運動部

■弓道部

<高校総体中部地区予選>
女子団体 8位(県大会出場)
男子個人2名、女子個人6名
(県大会出場)

■剣道部

<高校総体中部地区予選>
男子団体 6位(県大会出場)
女子団体 6位(県大会出場)

■サッカー部

<高校総体県大会>
2回戦 清水東 4-1 柳井
3回戦 清水東 1-0 日大三島
準々決勝 清水東 0-1 静岡学園

■山岳部

<県立総合体育大会> 出場

■テニス部

<高校総体中部地区予選>
男子(ダブルス)
池田瑞哉(36HR)・望月教生(22HR)組
21位
石川祥多(34HR)・細澤義夫(37HR)組
25位

女子(シングルス)

西澤史歩(31HR) 19位

石田麻月(36HR) 25位

<高校総体県大会>

男子団体戦 ベスト32

女子団体戦 ベスト32

女子シングルス

西澤史歩(31HR) ベスト16

■男子ソフトテニス部

<高校総体県大会>

学校対抗戦 ベスト16

<高校総体中部地区予選>

学校対抗戦 優勝(県大会出場)

個人戦

石川(35HR) 大西(27HR)組
第6位 橋本(27HR) 伊東(34HR)組
第7位 長澤(23HR) 武東(37HR)組
第10位 武東(32HR) 小林(35HR)組
(以上県大会出場)

■女子ソフトテニス部

<高校総体県大会>

学校対抗戦 ベスト16

<高校総体中部地区予選>

学校対抗戦 3位

■卓球部

<高校総体中部地区予選>

女子学校対抗 ベスト4

ダブルス

ベスト16

岡村実乃里(35HR)・小坂静子(35HR)

岡村政伸(22HR)・岡村こと美(24HR)

シングルス

ベスト32

岡村実乃里(35HR)

岡村静歩(22HR)

(以上県大会出場)

■女子バスケットボール部

<高校総体中部地区予選>

清水東 47-29 浜北郡

清水東 59-41 静岡商業

清水東 40-75 藤枝東
(0分1秒で戦い引退)

■男子ハンドボール部

<高校総体県大会>

準優勝 東海大会出場

■女子ハンドボール部

<高校総体県大会>

ベスト8



弓道部

令和6年度静岡県高等学校弓道対抗戦
県大会 6位

令和7年度高校総体団体女子 県大会出場

本校の弓道部員は高校入学後に弓道を始めた者が大部分です。その生徒達が精古を積んで上達し、大会へと挑戦しています。普段の練習では的に当てることのできる生徒も、試合の本番では緊張や暑さ寒さなど様々なコンディションによって、自分の射をコントロールすることが難しくなります。

学校対抗戦は2月のとても寒い中で行われました。中部地区予選を7位で通過し、県大会に進みました。県大会では寒さのせいで、各校成績が振るわない中、本校弓道部は健闘し、全体で5位、的中率率2校での競射となりました。今回の好成績の要因は何かと考えると、前日稽古で、がちがちに震える寒さの中で当たるまで終われない厳しい稽古をしたことではないかと振り返ります。様々な状況の中で対応できる力の養成が大切になると感じた大会でした。競射では1中差で負け、結果6位入賞で惜しくも中日本大会への切符を握る事になりました。

今年度の高校総体予選では、女子団体が健闘し、地区予選8位入賞を果たし、県大会へと進みました。県大会予選では40射中20中と決勝進出へはあと2中と迫りながら、惜しくも敗退となりました。チームで稽古を続け、絆も強く、とてもいいチームでした。この姿を見て、後輩たちも稽古に励むことでしょうか。コンディションによらずに、射をコントロールする強い精神力を鍛えることが今後の課題となります。射に対するこだわりを持って稽古に臨んでいてもらいたいです。(文責 谷口)

英語部

第14回日本高校生パラメンタリー
ディベート連盟杯 出場
(HPDU Competition 2025)

3月21日から23日まで東京代々木のオリンピック記念センターで行われた、パラメンタリーディベートの全国大会「第14回日本高校生パラメンタリーディベート連盟

杯」に静岡県代表として出場しました。本校英語部はこの大会に昨年・一昨年と出場しており、今年も出場できたことを大変嬉しく思っています。生徒たちは応援して下さいる在校生や同窓会の皆様の期待に応えられるよう、全力を尽くして戦ってまいりました。

パラメンタリーディベートは即興型のディベートです。試合開始20分前に発表される論題について、生徒達だけで準備をし、約1時間の試合に臨みます。電子辞書とストップウォッチ以外の電子機器は使用禁止なので、ネット検索することもできません。今年出された論題は「発展途上国での児童労働を禁止すべきか」「西洋的自由民主主義社会における家族の価値の低下は嘆かわしいものなのか」などであり、英語力はもちろんですが、社会問題への理解や、論理的に説明する力が必要とされる、知のバトルです。

大会では予選4試合を戦いました。全国2勝を目指して昨年以上のチームに仕上げてきましたが、それだけに強豪校と当たることが多く、結果は1勝3敗でした。しかし、全国の強豪と対戦したり、様々なワークショップに参加したりする中で、非常に貴重な学びを得ることができ、来年こそ全国2勝を果たせるようにと決意を新たにしました。変わりつつある英語教育のもと、「英語を使ってできること」の限界に挑戦し続ける生徒達へ、引き続き応援よろしくお願いたします。

(文責 林)

新聞部

第49回全国高等学校総合文化祭
(香川大会)新聞部門 出場

新聞部は昨年(令和6年度)行われた第1回全国高校新聞コンテストにおいて、金賞を受賞しました。応募校は全84校で、そのうち金賞は4校のみに贈られました。このコンテストでは1年間で発行した新聞から1部を選び応募します。本校は「清高新聞」第310号での応募となりました。本新聞は夏休みに県の地震防災センターへの取材



など外部への取材を行い、他にも校内外のニュースを多く取り入れた計16面の大型新聞です。南海トラフ地震に関して、住まいの備えなど本校生徒に関係のある情報をまとめた点が評価されました。また、6名という少ない部員で紙面の構成から印刷まで全て自分たちで行っているにも関わらず、レイアウトなど見やすく紙面をまとめている点も大きく評価されました。

また、昨年(令和6年)度末に行われた第29回全国高校新聞年間紙面審査賞において入賞しました。この審査では1年間に発行した全ての新聞が審査されます。本校は9作品での応募となりました。またこの入賞をもって、今年度の7月28日から30日まで香川県で行われる第49回全国高等学校総合文化祭の新聞部門への出場が決まりました。

今年度も部員4名と人数は少ないですが、学校の第二の応援団として本校生徒たちを新聞で応援していきます。(文責 河波)

定時制

令和7年5月10日から静岡県高等学校定時制・通信制春季体育大会が開催されました。本校の生徒は、卓球、バドミントン、サッカー、陸上競技の4競技に出場しました。卓球の男子シングルスでは、本校の2年生が優勝しました。また、クラーク記念国際高校(静岡校)と合同チームで参加したサッカー部は、準決勝で静岡中央高校に敗れたものの、3位決定戦で大平台高校に1-1(PK4-1)で勝利し、3位入賞を果たしました。この結果から、どちらの部も静岡県を代表して7月下旬から8月にかけて開催される全国高等学校定時制通信制体育大会に出場します。生徒たちは他校と合同で練習したり、全日制的部活動に参加したりして全国大会でも活躍できるようにとレベルアップに努めています。もちろん、他の部も熱心に活動し、秋季大会に向けて頑張っているところです。また、生徒たちは普段の授業や学校行事等にも積極的に取り組んでいます。こうした定時制の生徒の活躍は、公式Xや学校ホームページで随時公開しておりますので、QRコードを読み取り、生徒たちの活動を是非御覧になってください。

(文責 杉木)

定時制公式X



■陸上部

<高校総体中部地区予選>

- 男子
 - 200m 赤子晴佑(33HR)
 - 800m、1500m 杉山拓真(34HR)
 - 1100m 渡邊光久(24HR)
 - 正幅跳 清水真輝(26HR)
 - やり投 大塚真人(31HR)
 - 砲丸投 大塚真平(33HR)
 - 4×100mR 染矢・阿部・森・梨月
- 女子
 - 100m、200m 中澤優(35HR)
 - 800m
 - 関克衣那(36HR)、田村真夏月(27HR)
 - 1500m 杉山茜(32HR)
 - 5000mW 佐々木ひとみ(37HR)
 - 走高跳
 - 佐藤優希(37HR)、花城ひより(26HR)
 - 三枚鉄 今田航花(35HR)
 - (以上県大会出場)

■野球部

<春季高校野球静岡県大会>

- 1回戦、清水東 0-1 浜松日体

■水泳部

<高校総体水泳競技中部地区予選>

- 山梨実業(25HR)
- 200M背泳ぎ 中部地区第3位
- 100M高泳ぎ 中部地区第3位
- 加藤斗帆(121HR)
- 100Mクワイクイ 中部地区第5位
- 長水健堂(14HR)
- 200M個人メドレー 中部地区第6位
- (以上、3名4種目県大会出場)

文化部

■囲碁部

<静岡県高等学校囲碁選手権大会中部地区予選>

- 団体戦、1位
- 池田聖那(33HR)・渡邊聖雄(34HR)・山崎哲臣(24HR)

■管楽器

- 3位 青沼聖雄(34HR)
 - 4位 山崎哲臣(24HR)
 - 5位 塚越史(22HR)
 - 6位 池田聖那(33HR)
- <静岡県高等学校吹奏楽選手権大会>
- 団体の部
 - 第4位
 - 池田聖那(33HR)・渡邊聖雄(34HR)・山崎哲臣(24HR)

■英語部

<第14回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯(HPDU Competition 2025)>

出場

- 新谷こころ(36HR)、高野美穂(37HR)、藤井もも(35HR)

■放送部

<第72回NHK杯全国高校放送コンテスト静岡県中部支部予選>

■アナウンス部門

- 3位 佐久美美(37HR)
 - 入賞 鈴木聖堂(35HR)、渡辺希(31HR)
 - 入賞 山手祐季(35HR)、中田聖希(21HR)
- 放送部門
- 入賞 松永悠樹(35HR)、飯城新真(13HR)
 - 入賞 松上佳和郎(34HR)
- ラジオコメント部門
- 2位 「えびをつぶろ」
- 制作ラジオドラマ部門
- 1位 「たとえ火の中の水の中」
- <NHK杯全国高校放送コンテスト静岡県大会>
- 制作ラジオドラマ部門
 - 準優勝 「たとえ火の中の水の中」
 - (全国大会出場決定)

■将棋部

- <静岡県選手権中部大会>
- 1位 山中健輔(27HR)
- <静岡県選手権大会>
- 7位 山中健輔(27HR)



同窓会事務局からのお知らせ



●同窓会報デジタル化の歩み

同窓会では、会報誌のデジタル化を進めています。現在同窓会ホームページにデジタル版の公開をしていますが、今後希望者には発行のタイミングで郵送ではなく、メールでの配信を計画しています。

そのためには、同窓会へのメールアドレスの登録が必須となります。

現在同窓会へのメールアドレスの登録が有効となっている方には、メールマガジンが配信されています。受け取りを希望される方は、こちらから登録をお願いいたします。

メールアドレスの登録 ▶

<https://www.reservestock.jp/inquiry/YzEYz2MwVjgzY>



●卒業後初めての同期会に同窓会からの補助があることをご存じですか？

同窓会では、卒業後初めての同期会に¥100,000の補助を行っています。ご希望の学年は事務局までご連絡ください。

【補助を受け取るには？】

- ①年齢が30代までで同期50人以上の参加があること
- ②学年代表から事務局に届出をすること
- ③事務局より該当者に案内送信が可能なこと
- ④メールマガジンとLINE公式アカウントへの登録推奨
案内を承諾いただくこと

【同窓会事務局への連絡】

- Tel 090-6359-8084

(同窓会スタッフは毎週金曜日午前中勤務)

- 同窓会ホームページお問い合わせフォームから
<https://www.reservestock.jp/inquiry/NWE3Y2QzNTOxY>



会計報告

令和6年度 静岡県立清水東高等学校 同窓会 決算書

前年度より繰り越し 11,177,664円

収入総額 18,495,151円

支出総額 6,728,876円

差引残額 11,766,275円

次年度へ繰り越し 22,943,939円

令和7年6月13日に開催された代議員総会において、右記内容で承認されましたことをご報告いたします。

同窓生の皆様、寄付金・維持協力費のご協力ありがとうございます。これらは卒業記念品の購入、会報誌19,000部の印刷・発送、事務局の維持費にあてられています。

また、同窓会事業としては「絆ルーム」や若い同窓生への支援事業があります。同窓会財政が健全さを保つために、より多くの会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

(単位：円 △印は減)

◆収入の部◆				
科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備考
寄付金	2,000,000	1,051,548	951,548	幹事学年収支より
維持協力費		1,918,039		郵便振込359名、コンビニ471名、記念誌50名
100周年寄付金	13,698,851	13,695,376	△ 3,475	
入会金	280,000	280,000	0	全日制¥1000円×271名、定時制¥1000円×8名+中途1名
終身会費	1,100,000	1,104,000	4,000	全日制¥4000円×271名、定時制¥2000円×8名+中途1名
広告協賛金	200,000	200,000	0	全報広告(いなば食品、TAT、清水銀行、幹事)
名簿販売		10,600	10,600	残部販売
卒六の会参加費		238,399	238,399	
雑収入	25,000	11,237	△ 11,763	預金利息
合計	17,303,851	18,495,151	1,191,300	

◆支出の部◆				
科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備考
会議費	50,000	6,064	△ 43,936	総会、役員会、会報編集委員会
人件費	300,000	380,000	80,000	職員給与、集計外注
旅費	75,000	114,000	39,000	職員通勤、役員等旅費
慶弔費	150,000	110,350	△ 39,650	祝儀(地区・支部同窓会)、花輪代、追贈花束他
常用費	200,000	227,542	27,542	
卒業アルバム		7,150	7,150	同窓会ストック分
水道光熱費		2,352	2,352	電気代、水道代
支払手数料		218,040	218,040	郵便振替、銀行振込代
事業費	3,940,000	4,420,263	480,263	
会報	3,250,000	3,445,071	195,071	同窓会報デザイン(外注)、印刷・発送
絆ルーム	300,000	300,000	0	
懇親会	210,000	10,313	△ 199,687	学年ちらし
卒六の会		406,188	406,188	
HP、データ管理	180,000	268,711	88,711	HP、リザーブストック
通信費	100,000	49,936	△ 50,064	携帯電話、郵送料
消耗品費		65,000	65,000	中古PC(印刷)
卒業記念費	300,000	313,038	13,038	卒業証書ファイル、記念品
100周年費	0	606,173	606,173	反省会、公式LINE2年分、Web制作運営2年分他
学校支援金	400,000	352,000	△ 48,000	時計寄贈
雑費	10,000	60,500	50,500	弁護士費用
予備費	10,000	3,000	△ 6,000	名簿買取
合計	5,535,000	6,728,876	1,193,876	

今期利益 11,766,275

次期繰越額 22,943,939

令和6年度寄付者ご芳名

寄付者243名 令和6年4月～7年3月 ご芳名は掲載希望者のみ

高18	兼高 俊	25,000	高44普	浅葉(池田) 名津美	5,000	高 7	関根(田中) 絹子	2,000
高12	鈴木 一壽	20,000	高45理	市川 和宏	5,000	高14	池上(西子) 和枝	2,000
中16	杉山 房雄	10,000	高45普	中村 敬臣	5,000	高19	小杉 修史	2,000
高 2	赤堀 藤夫	10,000	定10	笠井 厚泰	5,000	高26普	勝又 英喜	2,000
高 6	伏見(久保田) 文夫	10,000	定11	杉山 賢	5,000	高27普	小長井 清	2,000
高 6	剱持 健児	10,000	高34理	望月 泰朗	4,000	高29普	川口 公義	2,000
高 6	中村 敏男	10,000	高 3	山梨 脩次郎	3,000	高29普	杉山 昌弘	2,000
高11	中村 敏彦	10,000	高 7	青山 泰晃	3,000	高29普	増田(瀧) 恵子	2,000
高12	大石 純厚	10,000	高 8	北川 幸彦	3,000	高33普	杉浦 悦志	2,000
高12	大石 淑	10,000	高 9	小笠原 雄治	3,000	高34普	望月 啓伸	2,000
高12	前川 旭	10,000	高10	池上 龍雄	3,000	高48理	大塚 幸治	2,000
高13	岡安 美登	10,000	高10	土岐(河村) 淑子	3,000	高50普	坂田 正司	2,000
高13	外岡 長城	10,000	高10	小池 二三夫	3,000	高50普	橋本 卓也	2,000
高15	齋藤(齋藤) 賀子	10,000	高12	八尋(今井) 愛子	3,000	高58普	川口 洋希	2,000
高15	中澤 通訓	10,000	高12	高山(三宅) シズエ	3,000	高62普	川口 直希	2,000
高19	福嶋 修	10,000	高13	高橋 誠	3,000	高 8	齋藤 素美代	1,000
高22	望月 崇孝	10,000	高15	川口 彰	3,000	高10	長澤 弘巳	1,000
高23普	久保田 芳弘	10,000	高15	鈴木(須佐) 芳子	3,000	高14	勝又 洋	1,000
高23普	望月 てる代	10,000	高15	萩澤 与三郎	3,000	高21	黒瀬 幸三郎	1,000
高24普	大澤 恒夫	10,000	高16	磯部(高橋) 由紀	3,000	高21	沼田 光一郎	1,000
高30普	緒方 克吉	10,000	高19	土器屋(大石) 美千代	3,000	高23普	柴田 昇	1,000
高32普	河瀬 晃一郎	10,000	高20	大橋 洋司	3,000	高24普	杉山 博章	1,000
高33普	岩崎 直巳	10,000	高20	福石 政行	3,000	高25普	鯨島 俊彦	1,000
高33普	望月 利昭	10,000	高20	山寺 静夫	3,000	高28普	長澤 和明	1,000
高34理	牧田 司	10,000	高22	原 藤蔵	3,000	高30理	稻葉(鈴木) 弘文	1,000
高35普	高山 誠治	10,000	高22	渡邊 高秀	3,000	高31普	伊藤 嘉規	1,000
高38普	藤池 智則	10,000	高23普	植野 誠之	3,000	高32普	山本 美千代	1,000
高41普	上出 靖	10,000	高23普	高柳 禎之	3,000	高38普	小山 悟	1,000
高41普	谷内(庄司) 麻子	10,000	高25普	松田 壽久	3,000	高40普	秋山 武広	1,000
高41普	河野(宮原) 千恵	10,000	高27普	鈴木 健悟	3,000	高41普	滝口 尚男	1,000
高46普	杉山 健一	10,000	高27普	望月 稔之	3,000	高54普	吉田 大	1,000
高48普	赤堀 巨	10,000	高28普	伏見 孝信	3,000	高58普	瀧 綾巳	1,000
高 3	岡村 禮次	8,000	高29普	富永 英和	3,000	高61普	納本 和寿	1,000
高23理	永井 孝之	8,000	高29普	近藤(長沢) 希久衣	3,000	高74普	吉本 匠満	1,000
高24普	香川 恭廣	8,000	高29普	若杉 聡	3,000			
高31普	尾崎 一裕	8,000	高30普	竹澤 昌志	3,000			
高53理	真野 浩志	8,000	高31理	曾根 智史	3,000			
高 9	増田 勝一	5,000	高31普	田中 俊也	3,000			
高17	長谷川 恭道	5,000	高33理	池田 伊知郎	3,000			
高25理	土屋 政仁	5,000	高33理	今泉 佳宣	3,000			
高28理	岩間 芳仁	5,000	高33普	松原 広幸	3,000			
高33理	山口 正雄	5,000	高33普	山崎 一輝	3,000			
高39普	伊丹 淳	5,000	高34普	瀧 敏晃	3,000			
高39普	佐野 仁彦	5,000	高40普	杉山(岡崎) 律子	3,000			
高39普	齋藤 誕	5,000	高42普	渡邊(鈴木) 滋子	3,000			
高40普	武田(岡本) 早苗	5,000	高44普	齋藤 賢二	3,000			
高41普	杉山 豪	5,000	高60普	竹田(望月) 美希	3,000			
高41普	宮崎(兵庫) 佐和	5,000	定18	漆畑 誠之助	3,000			
高42普	豊田 邦和	5,000	高 4	望月 秀男	2,000			



Thank you!

令和6年度維持協力費納入者ご芳名

- | | | | | | |
|---------------|-----------------|----------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 中18 寺田 隆尚 | 高9 瀬口 駿三郎 | 高13 外岡 長城 | 高18 中澤 進一 | 高22 八木 秀樹 | 高25 普 村松 篤 |
| 中18 糠谷 省三 | 高9 伴野 經治 | 高13 中村 元弘 | 高18 鈴木(中村) 洋子 | 高22 山下 大輔 | 高25 普 村松 謙一 |
| 中20 大塚 進三 | 高9 伴野 亮 | 高13 長阪 達也 | 高18 浜田 憲治 | 高22 山田 晴夫 | 高25 普 豊田(望月) 久留巳 |
| 中21 榑原 欣一 | 高9 銅田 忠彦 | 高13 藤牧 正弘 | 高18 牧田 正裕 | 高22 若杉 勲 | 高25 理 石田(望月) ひとみ |
| 中21 桜井(志田) 恒久 | 高9 増田 勝一 | 高13 木浦 健次 | 高18 望月 庄吉 | 高22 渡邊 高秀 | 高25 普 横山 雄一 |
| 中21 富沢 博 | 高9 松永 純一 | 高13 望月 康弘 | 高18 望月 武 | 高23 普 井出(青木) みや子 | 高26 普 大橋 弘幸 |
| 高1 望月 祥平 | 高9 望月 直彦 | 高14 青木 猛 | 高18 望月 富士秋 | 高23 普 井出 雅士 | 高26 普 落合 克弘 |
| 高2 赤堀 藤夫 | 高9 吉田 忠 | 高14 松下(池田) 純子 | 高18 藤田(山本) 三保子 | 高23 普 伊藤 敦雄 | 高26 普 勝又 英喜 |
| 高2 柴田 理 | 高10 荒木 邦男 | 高14 市川 忠義 | 高18 藤川(山本) 孝三郎 | 高23 理 市川 篤司 | 高26 普 窪田 靖志 |
| 高3 岡村 禮次 | 高10 井出 宝蔵 | 高14 樽林 勝 | 高18 青木(吉田) 紅子 | 高23 普 植野 誠之 | 高26 普 小池 満弘 |
| 高3 加藤 智雄 | 高10 池上 龍雄 | 高14 児島 修一 | 高18 望月(渡辺) 美知子 | 高23 普 小川 裕茂 | 高26 普 粉川 克彦 |
| 高3 杉山 清 | 高10 遠藤 幹人 | 高14 佐野(佐々木) 功子 | 高18 望月(渡辺) 町代 | 高23 普 川口(小楠) 知子 | 高26 普 小池 教文 |
| 高3 高山 善之 | 高10 大石 瑤一 | 高14 齋藤 征乃夫 | 高19 船倉(池上) 順子 | 高23 普 川口 悟 | 高26 普 仙北屋(杉田) 知嘉子 |
| 高3 出口 升一 | 高10 荻原 慎一 | 高14 鈴木 幸夫 | 高19 江川 正彦 | 高23 普 久保田 芳弘 | 高26 普 鈴木 一正 |
| 高3 古川 勝一 | 高10 片瀬 紘一 | 高14 曾根 伸治 | 高19 土器屋(大石) 美千代 | 高23 普 近藤(熊山) 恵子 | 高26 普 水谷 林蔵 |
| 高3 村松 孝明 | 高10 土岐(河村) 淑子 | 高14 望根 功 | 高19 笠井 富雄 | 高23 普 小池 敦文 | 高27 普 加藤(朝夷) 弘子 |
| 高4 足利(池田) 定子 | 高10 小池 二三夫 | 高14 望月(富永) 素子 | 高19 金井 宣雄 | 高23 普 小長谷 武敏 | 高27 普 川副(井出) 雅男 |
| 高4 漆畑 勲 | 高10 井上(佐藤) 美智子 | 高14 池上(西子) 和枝 | 高19 神谷 明訓 | 高23 普 柴田 昇 | 高27 普 伊藤 嘉章 |
| 高4 杉山 栄一 | 高10 志田 欣治 | 高14 村田 弘 | 高19 久保田 明仁 | 高23 普 社本 一宏 | 高27 普 小田原(池上) 富子 |
| 高4 杉山 睦男 | 高10 柴 真吾 | 高14 渡辺 一彦 | 高19 小杉 修史 | 高23 普 須田 直英 | 高27 普 市川 淳 |
| 高4 杉山 凜策 | 高10 神尾(滝浪) 世利子 | 高15 荒柴 豊 | 高19 小長谷 育教 | 高23 理 矢野(鈴木) 登美子 | 高27 普 糠谷(大澤) 温子 |
| 高4 滝 努 | 高10 千々岩(徳永) 寿美子 | 高15 伊藤 義亮 | 高19 小宮 傑 | 高23 普 高柳 禎之 | 高27 普 大石(大鳥) 加代子 |
| 高4 藤田 仁 | 高10 野尻 元二郎 | 高15 中澤(大石) 和枝 | 高19 佐野 正隆 | 高23 普 野口(武井) 祐子 | 高27 普 大橋 京子 |
| 高5 岩崎 三平 | 高10 堀 公子 | 高15 長田 武 | 高19 田村 滋規 | 高23 普 塚本 明人 | 高27 普 窪田 郁子 |
| 高5 植村 清志 | 高10 堀池 信之 | 高15 川口 彰 | 高19 福嶋 修 | 高23 普 妻木 充法 | 高27 普 黒田 薫 |
| 高5 吉川(貞沼) 淑子 | 高10 望月 真 | 高15 田村(児玉) 紀子 | 高19 保坂 高 | 高23 普 富田 松夫 | 高27 普 小長井 清 |
| 高5 原崎(和) 君子 | 高10 片瀬(吉田) 久美子 | 高15 齋藤(齋藤) 賀子 | 高19 堀口 実 | 高23 普 中西 利之 | 高27 普 蓮實(佐野) 美智子 |
| 高5 川口 伊佐吉 | 高11 青木 佳子 | 高15 鈴木(須佐) 芳子 | 高19 菊地(望月) 博 | 高23 普 永井 孝之 | 高27 普 宮城島(佐藤) 正枝 |
| 高5 齊藤(木村) せつ | 高11 岩川 龍一 | 高15 杉森 正明 | 高19 山下 俊多 | 高23 普 五島(鍋田) 千鶴 | 高27 普 鈴木 健悟 |
| 高5 橋本(清水) 久代 | 高11 岩崎 龍弥 | 高15 鈴木 照子 | 高19 渡井 俊行 | 高23 普 原嶋(原) 尚子 | 高27 理 田中 洋 |
| 高5 下川 東吉 | 高11 松本(大石) 敦子 | 高15 中澤 通訓 | 高20 安島 雅文 | 高23 普 堀 明夫 | 高27 理 西村 真琴 |
| 高5 名波(杉山) 律子 | 高11 大熊 裕子 | 高15 萩澤 三郎 | 高20 梅原 清 | 高23 普 望月 鉄郎 | 高27 普 粉川(早川) 美佐子 |
| 高5 鈴木 信夫 | 高11 大嶽 龍司 | 高15 田中(樋口) 征子 | 高20 遠藤 正美 | 高23 普 望月 てる代 | 高27 普 中野(平岡) 令子 |
| 高5 瀧美(田代) 眞砂子 | 高11 川島 孝一 | 高15 深澤 伸之 | 高20 大石 義明 | 高23 普 望月 俊彦 | 高27 普 藤山 英春 |
| 高5 高野 弥 | 高11 西川(北川) 晶代 | 高15 深澤 文雄 | 高20 片平 輝司 | 高23 普 橋本(矢口) 辰美 | 高27 普 村上 嘉春 |
| 高5 小野田(望月) 雪江 | 高11 竹下(剣持) 美智子 | 高15 松永 敏正 | 高20 片平 輝夫 | 高23 普 山崎 郁夫 | 高27 普 望月(村上) 都 |
| 高5 望月 清 | 高11 酒井 弘 | 高15 松永 幹也 | 高20 日下 正人 | 高23 普 刘馬(分部) 裕子 | 高27 普 望月 宣典 |
| 高6 遠藤 日出夫 | 高11 澤野 弘二 | 高15 高橋(望月) 久美子 | 高20 白石 則雄 | 高24 普 遠藤 正弘 | 高27 普 望月 稔之 |
| 高6 剣持 健児 | 高11 馬場(田島) 米子 | 高16 青木 進 | 高20 細池(鈴木) 環 | 高24 普 大澤 恒夫 | 高27 普 山口 正洋 |
| 高6 鈴木 明 | 高11 新井(滝) 陽江 | 高16 上野(天野) 直美 | 高20 西澤 佳男 | 高24 普 大鳥 英俊 | 高27 普 渡邊 敏一 |
| 高6 石野(高木) 正治 | 高11 滝下 寿一 | 高16 安藤 泰正 | 高20 則竹 義正 | 高24 普 香川 恭廣 | 高28 普 有澤 啓介 |
| 高6 中村 敏男 | 高11 中村 敏彦 | 高16 池上 五郎 | 高20 福石 政行 | 高24 普 河村 孝治 | 高28 普 深澤(宇佐美) 裕子 |
| 高6 平岡 昌樹 | 高11 尾形(丹羽) 佐久子 | 高16 内山 鼎 | 高20 飛田(藤田) 美砂江 | 高24 普 片崎 知孝 | 高28 普 榑原(大井) 美喜子 |
| 高6 廣田 富士秀 | 高11 彦坂 勝之 | 高16 桐山(大塚) 静江 | 高20 則竹(藤牧) 陽子 | 高24 理 齋藤 満 | 高28 普 堅田 義郎 |
| 高6 牧野 六哉 | 高11 三上 征男 | 高16 大久保 正直 | 高20 前川 健 | 高24 普 杉山 邦生 | 高28 普 川口 尚 |
| 高6 山田 晃巳 | 高11 水野 善博 | 高16 大村 久雄 | 高20 松下 勝美 | 高24 普 高島 昇 | 高28 理 川田 康夫 |
| 高6 横山 繁樹 | 高11 村松 昌樹 | 高16 野村(川口) 博子 | 高20 宮城島 隆夫 | 高24 普 長澤 房和 | 高28 普 佐野 秀也 |
| 高7 青山 泰晃 | 高11 工藤(吉田) 礼子 | 高16 小井 隆好 | 高20 平野 秀男 | 高24 普 長沼 孝 | 高28 普 渋谷 真久 |
| 高7 高島(梅本) 和子 | 高12 伊藤 秀源 | 高16 佐野 恵之助 | 高20 矢崎 俊昭 | 高24 理 服部 健之 | 高28 普 杉本 信策 |
| 高7 大石 倉平 | 高12 池田 新八 | 高16 佐野 實 | 高20 山寺 静夫 | 高24 普 福嶋(比護) 淳子 | 高28 普 中島(杉山) 公子 |
| 高7 佐々木 俊一 | 高12 市川 恵一 | 高16 磯部(高橋) 由紀 | 高20 山梨 直久 | 高24 普 藤下 昌昭 | 高28 普 杉山 昌章 |
| 高7 清水 修 | 高12 八尋(今井) 愛子 | 高16 神尾(山梨) 知代 | 高21 松田(阿部) 薫 | 高24 普 村松 和則 | 高28 普 高田 和典 |
| 高7 関根(田中) 絹子 | 高12 大石 純厚 | 高17 色本(池田) 幸代 | 高21 根本(岩淵) 千明 | 高24 普 望月(吉原) 加奈子 | 高28 普 滝浪 京子 |
| 高7 田伏 康宏 | 高12 大石 淑 | 高17 市川(池田) 紀美子 | 高21 遠藤 守雄 | 高25 普 香川(伊藤) 八千代 | 高28 普 長澤 和明 |
| 高7 福井 勝彦 | 高12 大木 博司 | 高17 上田(稲名) 嘉子 | 高21 速川 佳廣 | 高25 普 飯田 正孝 | 高28 普 西ヶ谷 和彦 |
| 高7 伏見 義朗 | 高12 岸山 良則 | 高17 遠藤 修 | 高21 榑田 眞司 | 高25 普 池谷 雅弘 | 高28 普 戸崎(春木) 美早子 |
| 高7 堀 安宏 | 高12 北村 寿子 | 高17 森(風間) 道子 | 高21 黒瀬 幸三郎 | 高25 普 高橋(岩間) きよみ | 高28 普 伏見 孝信 |
| 高7 漆畑(宮本) 嘉代子 | 高12 渡辺(久保田) 典子 | 高17 杉山 彰 | 高21 平井(滝) 千恵子 | 高25 普 木村(宇佐美) 華江 | 高28 理 古川 敬芳 |
| 高8 西澤(伊藤) 文江 | 高12 久保田 揚夫 | 高17 塚本 信之 | 高21 糠谷 明 | 高25 普 窪田(太田) 富夫 | 高28 普 武田(古牧) 範子 |
| 高8 加藤 勝 | 高12 生子 哲男 | 高17 出口 栄彦 | 高21 横田 光一郎 | 高25 普 笠井 幸治 | 高28 普 山田 一雄 |
| 高8 飯山(勝又) 澄代 | 高12 鈴木 一壽 | 高17 長谷川 恭道 | 高21 望月 義久 | 高25 普 片瀬 昭臣 | 高28 普 油井 昭宏 |
| 高8 北川 欽也 | 高12 滝田 博之 | 高17 樋口 晃彦 | 高22 田中(池田) 悦子 | 高25 普 鈴木(北村) 由美子 | 高28 理 義永 隆 |
| 高8 北川 幸彦 | 高12 土居 勲 | 高17 富士 俊明 | 高22 大内 雅之 | 高25 普 佐野 吉範 | 高29 普 深澤(伊東) 裕子 |
| 高8 大和(栗田) 直子 | 高12 内藤 親 | 高17 深澤 和夫 | 高22 勝又 明 | 高25 普 齊藤 昌子 | 高29 普 渡邊(市川) 雅子 |
| 高8 齋藤 素美代 | 高12 西ヶ谷 元 | 高17 福崎 直秋 | 高22 五味(神戸) 栄里 | 高25 普 鮫島 俊彦 | 高29 普 川口 公義 |
| 高8 鈴木 康之 | 高12 野口 正武 | 高17 藤井 真 | 高22 栗田 忠裕 | 高25 理 清水 秀樹 | 高29 普 川島 幸久 |
| 高8 前田(丹澤) なみき | 高12 前川 旭 | 高17 北條 園生 | 高22 粟田 浩一 | 高25 普 牧田(生子) 慶子 | 高29 普 河嶋 格 |
| 高8 田中(瀧山) 照代 | 高12 松野 輝洋 | 高17 筒井(堀沢) 美千子 | 高22 佐津川 吉秀 | 高25 普 木下(杉本) 智子 | 高29 普 社本 芳明 |
| 高8 西澤 泰光 | 高12 高山(三宅) シズエ | 高17 村松 潔 | 高22 岡野(佐野) 多恵子 | 高25 普 谷藤(杉山) 裕貴子 | 高29 普 杉山 昌弘 |
| 高8 角替(松本) 悦子 | 高12 水野 信夫 | 高18 石井 淑子 | 高22 鈴木(清水) 博美 | 高25 理 高橋 一 | 高29 普 田中 章 |
| 高8 藤村(山口) 壽子 | 高12 大石 安宏 | 高18 横山(岩本) 裕 | 高22 松木(芝) 礼子 | 高25 普 土屋(龍) 貴美枝 | 高29 普 古谷(田中) 春代 |
| 高8 山本 雅敏 | 高13 伊柳 茂 | 高18 上田 修一郎 | 高22 島田 邦彦 | 高25 理 土屋 政仁 | 高29 普 田村 亮 |
| 高8 道家(脇田) 倫子 | 高13 稲垣 信起 | 高18 岡野 眞久 | 高22 高山(田島) 由美子 | 高25 普 瀧崎 加穂子 | 高29 普 増田(瀧) 恵子 |
| 高9 庵原(岩崎) 房恵 | 高13 内海 勲 | 高18 風間 康 | 高22 外木 賢二 | 高25 普 石切山(原) 佳子 | 高29 普 知久 昌樹 |
| 高9 宇佐美 正徳 | 高13 桐山(大熊) 泰子 | 高18 河合(片平) 充夫 | 高22 海野(伴野) 正廣 | 高25 普 原 佳嗣 | 高29 普 富永 英和 |
| 高9 小笠原 雄治 | 高13 岡安 美登 | 高18 兼高 俊 | 高22 西澤 廣紀 | 高25 普 伏見 昌記 | 高29 普 中野 和明 |
| 高9 太田 哲 | 高13 栗田 則男 | 高18 川口 修 | 高22 西澤 正人 | 高25 理 藤井 秀宜 | 高29 普 近藤(長沢) 希久衣 |
| 高9 山下(片瀬) 絢子 | 高13 笹田 勝旦 | 高18 四條 敦之 | 高22 原 藤蔵 | 高25 普 松上 誠久 | 高29 普 池谷(松永) しおり |
| 高9 前田(川島) 靖子 | 高13 末石 高之 | 高18 白井 幹朗 | 高22 松永 愛自 | 高25 普 三田 誠 | 高29 普 松永 尚幸 |
| 高9 滝浪(榑原) はつ美 | 高13 高橋 作太郎 | 高18 鈴木 教仁 | 高22 望月 政明 | 高25 普 大島(水上) 洋子 | 高29 普 杉山(村上) 春子 |
| 高9 金森(塩谷) 美保子 | 高13 高橋 誠 | 高18 鍋倉(戸田) 伸子 | 高22 望月 幹雄 | 高25 普 村松(村松) 敦子 | 高29 普 望月 秀樹 |

高29普 望月 広愛	高33普 石渡 勝	高37普 宿谷 紫	高41普 鈴木 宏誌	高44普 浅葉(池田) 名津美	高58理 望月 康平
高29普 八木 宏仁	高33理 今泉 佳宣	高37普 浅井(進藤) 千加子	高41普 鈴木 洋則	高44普 後藤(小川) 直子	高58普 白井(池谷) 侑乃
高29普 山梨 光司	高33普 若崎 直巳	高37普 新村 浩	高41普 清幹 洋	高44普 片平 隆士	高58普 川口 洋希
高29普 若杉 聡	高33普 土橋(大内) 貴子	高37普 足立(杉山) 恵子	高41普 上野山(高田) 美津代	高44理 工藤 久智	高59普 窪田 一希
高29普 山梨(渡辺) 久見子	高33普 寺田(大滝) 由起子	高37普 田中 康規	高41普 瀧口 尚男	高44理 松田 憲幸	高59理 堀(長田) 留奈
高30理 天野 富夫	高33普 川崎 豊信	高37理 石和(原) 万美子	高41普 寺田 敬介	高44理 八木 康洋	高60普 竹田(望月) 美希
高30普 小栗(稻名) 由弥子	高33普 河村 知彦	高37普 森脇(牧田) 記世子	高41普 出口 太郎	高44普 吉村 峰仙	高61普 納本 和寿
高30普 上田 毅	高33普 久保 退三	高37普 望月 温子	高41理 戸田 顕	高45理 市川 和宏	高61普 谷米 慎太郎
高30普 小倉 正稔	高33普 窪田 時子	高37普 望月 邦朗	高41普 中根 将夫	高45普 中村 敬臣	高61普 田口 裕美
高30普 尾関 俊寿	高33普 佐藤 誠	高38普 天野 洋	高41普 中野 秀和	高45普 福士(望月) 夕起子	高62普 竹内 将
高30普 緒方 克吉	高33普 下平 芳寛	高38普 望月 健一	高41普 西ヶ谷 力哉	高46普 佐々木 健二	高62普 深沢 智将
高30普 木村(川口) 真理子	高33普 杉浦 悦志	高38普 小山 悟	高41普 原 亜矢子	高46普 望月 大介	高62普 浅井 俊輔
高30普 斉藤 弘樹	高33普 田口 哲也	高38普 藤池 智則	高41普 笠井(原本) 佳子	高46普 櫻戸 敬人	高62普 川口 直希
高30普 設楽 和宏	高33普 瀧戸 裕一	高38普 宮地 武彦	高41普 笠井(原本) 佳子	高46普 杉山 健一	高63理 高井 秀典
高30普 杉山 和寿	高33理 萩原 真	高38普 望月 望	高41理 引田 純	高46普 福島 洋	高64普 田口 裕香
高30普 鈴木(杉山) 知子	高33普 花井 浩之	高38普 高柳(渡邊) 紀子	高41理 宮崎(兵庫) 佐和	高46理 大石 真市	高64普 児玉 祐樹
高30理 稲葉(鈴木) 弘文	高33理 藤田 浩芳	高39理 浅野 美礼	高41普 望月 菜緒美	高46理 谷脇(川端) ちなつ	高64普 竹内 悠
高30普 石井(田中) 宏枝	高33理 牧野 一裕	高39普 石橋 英明	高41普 三宅 修史	高46普 望月 信吾	高64普 山内 秀
高30普 福井(滝) 智秋	高33普 松原 広幸	高39普 野野 秀樹	高41普 水村 珠青	高46普 山本 史明	高64普 赤堀 真理
高30普 竹澤 昌志	高33理 山口 正雄	高39普 佐野 仁彦	高41普 松浦 真	高47普 深澤 陽一	高65普 山梨 夏水
高30普 土屋 和敬	高33普 山崎 一輝	高39普 齋藤 誕	高41普 松永 章宏	高47普 山本(上村) 直子	高66普 松永 有未
高30普 百々 昌孝	高33普 山本 英敏	高39普 増井(杉村) 典代	高41普 荒木(松本) 孝子	高47普 松永 宗和	高66普 山崎 仁宏
高30普 村上 川尚	高33普 望月 保広	高39普 望月 健一	高41普 三宅 修史	高47普 ECKERT(MOCHIZUKI) ERIKO	高67普 小澤 秀介
高30普 増井 淳	高34普 青木 淑行	高40普 瀧戸 宏一	高41普 水村 珠青	高47普 清水 大海	高67普 山内 僚
高30理 松永 正之	高34普 瀧 敏晃	高40普 秋山 武広	高41理 緑川 新一	高47普 鈴木(伊藤) 嘉奈子	高67普 坂上 慧
高30理 杉山(松本) 奈於美	高34理 牧田 司	高40普 鈴木(海野) 恵子	高41普 河野(宮原) 千恵	高48普 藤田 英之	高68普 石崎 志歩
高30理 村上 牧子	高34普 望月 保広	高40普 遠藤 吉信	高41普 望月 菜緒美	高48普 鈴木 秀昌	高68理 田口 裕理
高30理 百瀬 俊也	高34普 望月 啓伸	高40普 杉山(岡崎) 律子	高41普 神崎(望月) 知美	高48理 大塚 幸治	高68普 小松 万留実
高30普 若杉 正則	高34理 望月 泰朗	高40普 武田(岡本) 早苗	高41普 八木 宏晃	高48普 赤堀 巨	高69普 鈴木 みなみ
高31普 池田 浩	高34普 笹井(山崎) 順子	高40普 森島(鈴木) 樹子	高41普 平岡(山内) 一世	高48普 藤元(大石) 勢津子	高70普 水野 孝哉
高31普 石垣 裕之	高35普 伊澤 誠	高40普 瀧戸 宏一	高41普 青野 寿代	高49普 水野 孝哉	高70理 石崎 真帆
高31普 堤坂(石野) 温子	高35普 田口(伊藤) 伸美	高40普 長沢 英紀	高41普 渡邊 信幸	高50普 坂田 正司	高71普 望月 涼太
高31普 尾崎 一裕	高35普 小川 富也	高40普 村田 洋	高42普 岡田 慎吉	高50理 岸澤 慈子	高73普 中村 隆誠
高31普 岡田 和也	高35普 大川 美代子	高40普 望月 泰斗	高42普 兼高 光清	高51普 山田 昇一	高74普 吉本 匠満
高31普 杉山 誠	高35理 加藤 貴司	高41普 野野 寿代	高42普 國持 一真	高51普 村松 郁夫	高76普 朱 環宇
高31理 曾根 智史	高35普 蕪木 健司	高41理 石川 雅晴	高42普 佐藤 充則	高53普 大石 直紀	高76普 室伏 叶夢
高31普 田中 俊也	高35普 北村 俊伸	高41普 今村 光宏	高42普 柴田 裕嘉	高53普 高田 光一	高76理 前田 凌
高31普 竹内 健	高35普 畑(神原) 由樹子	高41普 上田(友美) 友美	高42普 渡邊(鈴木) 滋子	高53普 高田 光一	定4 田島 定
高31普 赤堀(望月) 美里	高35普 鈴木 浩幸	高41普 大石 靖	高42普 市川(手塚) 達子	高53普 浜田 恵	定5 千葉 博司
高31理 山田 武彦	高35普 高山 誠治	高41普 曾根(梅本) 亜里	高42普 比留間(野澤) 彰子	高53普 望月 琢馬	定8 立川 岸夫
高31普 谷弘(横山) 治子	高35普 根本(土屋) 智子	高41普 小笠原 薫	高42普 望月 一弘	高53理 真野 浩志	定8 辻 豊夫
高31普 渡辺 一恵	高35普 中西 一泰	高41普 小川 弘修	高42普 増田(望月) 結花	高54普 寺尾 和容	定8 石 慶二
高32普 植松 徹	高35理 原田 昌樹	高41普 岡田 典久	高42普 柚木 隆志	高54理 袴田 博紀	定10 望月 清治
高32普 岡崎 正人	高35普 福島 覚	高41普 大村 雄志郎	高43普 相田 秀樹	高54普 飯塚 麻衣	定11 杉山 賢
高32普 河瀬 晃一郎	高35普 丸茂 龍正	高41普 岡田 典久	高43普 児玉 敦仁	高54普 窪田 冬希	定11 福原 敏正
高32普 小林 浩一	高35普 山脇 和哉	高41普 大富(亀山) 成子	高43普 永吉(鳩村) 友美子	高54普 窪田 亜希	定12 木村 徳幸
高32普 佐々木 啓	高36普 小澤 朋直	高41普 菊池 あずさ	高43普 志田 憲彦	高55普 窪田 亜希	定13 小林 正明
高32普 望月(滝) すみ代	高36普 山田(木曾) 美登里	高41普 久保田 義昭	高43普 下山田 圭一	高55普 池谷 崇	定18 添畑 誠之助
高32理 鉄 治	高36普 森(志田) 和子	高41理 小杉 悦子	高43理 戸田 晋	高56普 尾上(池田) 香織	定18 木 樽 隆三
高32普 西野 宏治	高36普 森(志田) 和子	高41普 是永 雄一	高43普 堀池 一司	高57普 菊地 瞳	定19 山田(金原) ちづ子
高32普 坂東 俊幸	高36普 鈴木 千晶	高41普 佐野 可奈	高43普 宮原 由行	高58普 中川 和哉	定22 神尾 実
高32理 衛田 正行	高36普 土谷 智志	高41普 佐野 可奈	高43普 望月 重宏	高58普 庄司 澤太	
高32普 杉山(増田) 美樹子	高36普 増田 郁人	高41普 下田 直人	高43普 望月 正貴		
高32普 宮城島 浩之	高36普 望月 敏博	高41普 川村(柴田) 雅代			
高32普 村松 浩人	高36理 吉村 忠昭	高41普 島田 孝太郎			
高32普 佐野(持塚) 恵子	高37理 秋山 明広	高41普 小倉(白石) 聖織			
高32理 望月 雅俊	高37普 太田 昌和	高41普 小倉(白石) 聖織			
高32普 山西 治男	高37普 金子 義一	高41普 杉浦 将文			
高32普 渡邊 勝	高37普 久保 恒人	高41普 杉山 正晃			
高33理 池田 伊知郎	高37普 久保田 恭史	高41普 鈴木 勝利			

清高同窓会報誌について、もろもろの出費が加算し、同窓会報誌の発行費用の捻出が年々厳しくなっている状況です。同窓生の皆様には、維持協力費と寄付金のご協力をよろしくお願いします。

編集後記 アドバイス、ご協力くださった同窓生のみなさん、先生方ありがとうございました！

記事をご提供いただいた方、編集委員、デザイナー、校内幹事、事務局等関係する皆様のご多大なるご協力により、どうか会報誌を完成することが出来ました。感謝申し上げます。

編集委員長を拝命してからというもの、慣れない作業であると共に仕事の繁忙期ということもあって悩ましい日々を過ごしました。しかし会報誌には現役高校生の活躍の様子やOBによる高校時代の思い出や思いが詰まっており、何も無い所から原稿、記事へと形になっていくにしたがって、これらの日々が報われるような気がしました。

悲喜交々あるとは思いますが、誰にとっても高校時代は人生における貴重な時期でありますので、少しでも多くの皆様が会報誌を手にとっていただき、何か心に残るものがあれば編集委員一同これ以上ない喜びです。

編集委員長 吉村峰山 (高44回生)

編集委員

高43回/ 相田秀樹、阿部光明、内山純子、奥村友果子、志田憲彦、中山真紀子、森雅也、村松園子

高44回/ 漆畑綾子、片平隆士、神尾倫央、堤亜紀、山梨千絵

高45回/ 海野健太郎、大石康乃、佐々木英子、田中薫、中島寛文

校内幹事 鶴飼知可世(高39回生)

印刷 株式会社ニシガイ

デザイン制作 823design 利根川初美(高38回生)

編集委員長 吉村峰山(高44回生)

同窓会報誌へのご寄稿、ご感想、ご意見等はメール・FAX・郵便などでお寄せください。

●メール

info@shimizu-higashi.com

●FAX (清水東高事務局)

054-366-7685

●郵便 (清水東高同窓会事務局)

〒424-8550 静岡市清水区秋吉町5番10号



みなさまと共に明日を創る 鈴与グループ

私たちは200年を超える歴史と約140社のグループ会社で、
物流・エネルギー・建設・食品・情報・航空・レジャーなど幅広い分野に挑戦を続けています。



鈴与株式会社

www.suzuyo.co.jp

採用情報は
こちら



地域を愛し、お客さまの未来をともに考え、共創します



清水銀行

<https://www.shimizubank.co.jp>

INABA いなば食品株式会社

健康・自然・本物・安心・環境をコンセプトに、
植物油を使用せず、野菜スープと富士山溪の
ナチュラルミネラルウォーターで仕上げています。

24期生 稲葉 敦央



ホームページ

<https://www.inaba-foods.jp>

静岡本社・工場

〒421-3104 静岡県静岡市清水区由比北田114-1

TEL 054-375-3111

IAI
Quality and Innovation

社会に貢献し、地域と共に未来をつくる
小型産業用ロボットの総合メーカー

2025年
始動!

IAIパラスポーツパークが
本社敷地内に完成!

株式会社 **アイエイアイ**

本社 〒424-0114 静岡県静岡市清水区地原町 1210
TEL 054-364-2301 (代表) FAX 054-364-5182
国内営業拠点 全31箇所 / 東京・大阪・名古屋ほか
海外営業拠点 全13箇所 / アメリカ・ドイツ・タイ・中国ほか